

## 第26回名古屋ビジネスセミナーを開催

● 大学院経済学研究科

大学院経済学研究科附属国際経済政策研究センターは2017年11月30日（木）日本経済新聞社名古屋支社にて第26回名古屋ビジネスセミナーを開催しました。



講演中の福和教授と会場の様子

同セミナーは名古屋大学経済学部同窓会のキタン会と共同で開催しており、今回は福和伸夫名古屋大学減災連携研究センター教授を講師として迎えました。

第26回は「見たくないことも直視し企業の南海トラフ地震対策を！」をテーマに、合計80名が参加しました（約80名収容の会場が満室となりました）。

福和教授は見たくないものを直視するための手段として映画やテレビドラマを取り上げ、危機管理や情報伝達の課題、科学の限界といった地震にまつわる根深い問題に向き合う重要性を説きました。また、同教授は動画を交えながら過去の地震を振り返りつつ、国の施策や防災に対する各地域の姿勢、日本企業の性質などを踏まえた上で、今後の地震に対する防災対応の方向性を示しました。

アンケートの回収率は100%であり、講演内容に関しては98%が「良かった」と回答しました。また講演のレベルについても98%が「適正」と答えました。同アンケートでは「貴重な話を聞いて有意義」、「防災・減災の取り組みの必要性を本当に感じることができました。身の回りから取り組みをはじめます」、「防災研修等に講師として来ていただきたい」といった意見が寄せられました。